

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市永田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

南区は高齢化率の高い地域であり、北永田地区、永田みなみ台地区、南永田山王台地区も高齢者の多い地域になる。地域のほとんどが住宅地であり、長く定住されている方が多く独り暮らし高齢者が増えているのが現状である。各地区ともに担い手不足が深刻化し、新たな担い手の確保が急務となっている。また、外国人居住者も増えてきており、生活環境が変化してきている。

[北永田地区]

永田地域ケアプラザから離れている地域にあり、3地区の中で人口が最も多く高齢者も多いが若い世代も多いため他の地区に比べ高齢化率は低い。地域活動が活発な地域で、集いの場を民間企業と協力して設置するなど地域の問題に目を向けた活動を展開している。

[永田みなみ台地区]

南永田団地は40年が経過し、居住者の高齢化や独り暮らしとなるケースが増えている。高齢化率は30%を超える地域であるため高齢者支援が必要であり、見守り隊や高齢者サポート委員会などの住民組織が運営されている。また、地域の活性化のための検討委員会も発足している。従前より団地には分譲（一街区）と賃貸（二街区、三街区）があり、情報の取得や支援の方法を変える必要がある。

[南永田山王台地区]

各団体の活動が活発に行われている地域になる。民生委員と友愛活動員による定期的な会合があり、見守り活動が継続して展開されている。高齢者サロンを展開するにあたり、南永田地域と山王台地域の環境による（山坂）問題で統一したサロンが運営できない状況にあるものの町内会単位で必要に応じて小規模の高齢者サロンを展開している。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者・障害・子ども等幅広い分野の相談について、地域の特徴やニーズを把握したうえで情報提供を行うとともに、関係機関を紹介、連携して問題解決に取り組んだ。窓口だけでなく、自主事業・会議、地域の会合等さまざまな場面で相談を受け付け、状況に応じた情報提供を行い、地域にケアプラザの機能を知っていただき活用を促した。

(3) 各事業の連携

毎月第3金曜日に開催している常勤職員による全体会議で、各部門の課題を協働し解決した。また、その他の各部門間の会議も定例で開催し、ケアプラザにおける業務の共有化と向上を図った。

認知症サポーター養成講座をはじめ、地域のイベント等では包括支援センターと地域活動交流で連携し活動を支援した。

区内の他地域ケアプラザを含めて、地域内で連携が必要な事業所とは、メーリングリスト等を活用し、必要な情報の共有化や意見交換を効率的に行えるように仕組み作りを行った。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域特性を判断した上で、適切な人員配置を行い、職員と地域の皆様が対話しより良いケアプラザ運営が進めていけるように尽力した。研修計画に従い、内部・外部研修に参加するとともに、各種連絡会に参加し、常に最新の情報を習得できるようにした。新人職員に対しては、積極的に研修（地域交流コーディネーター研修や包括に係る研修など）を行い、民児協や地区社協の会議などに参加し地域の状況を把握できるよう指導した。また、既存の職員全体会議、包括ミーティング、地域交流会議、居宅会議などの中で、情報の共有や課題の解決などを行った。

- ・ 内部研修（個人情報保護、非常災害時対応、認知症対応、介護予防、感染症対策 身体拘束廃止、リスクマネジメント、虐待防止、法令遵守等）

- ・ 外部研修（市社協・県社協主催研修会、高齢福祉部会主催研修、行政主催研修等）

公正中立性の確保についての基本的な考え方として、包括支援センターが要介護者等から相談を受け、居宅介護支援事業所を選択するにあたり、適切な情報提供をおこない地域の居宅介護支援事業所を当事者自身で選んでいただけるよう支援した。具体的には、横浜市が監修している『ハートページ』の情報をもとに情報提供を行い、多様な事業所から選んでいただく体制を整えた。また、介護保険の集中減算だけでなく、選択された事業所をカウントすることにより、大幅な偏りが発生しないようにチェックした。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域の福祉保健団体等と連携し、情報共有や地域のニーズを把握し、事業を共催するなどネットワークづくりに取り組んだ。また、区役所や社会福祉協議会との定例会議や民児協や連合町内会を通じて情報を共有した。

支えあいネットワークとして支えあい祭りを関係機関と連携して開催し、『顔の見える関係づくり』を構築し各団体の活動や情報の共有を図り、地域課題解決の一助となるようなネットワーク作りを目指した。支えあい祭りの運営は地域を主体とした実行委員会を設置して行うことで、地域と繋がりのある関係づくりを推進した。

南中学校地域防災拠点の運営委員会に運営委員として参加し、特別避難場所としての役割を担えるよう周知した。

(6) 区行政との協働

地域の方が安心してその人らしい生活を継続させるために地域福祉保健計画・地区別計画、包括的継続的ケアマネジメント業務を南区、南区社会福祉協議会と協働して推進した。地区懇談会や地区社会福祉協議会の総会などに積極的に参加し情報を収集し、永田3地区の地域特性などを踏まえ課題を解決けるよう支援した。

包括的継続的ケアマネジメント業務の推進では、包括支援センターが中心となり地域ケア会議を開催し、地域での問題点を明らかにして必要な地域ニーズを行政・地域と共有して、地域で課題を解決出来る体制づくりを進めた。

地域の福祉保健活動を推進するため、支えあいネットワークを南区、南区社会福祉協議会と連携して展開した。活動団体が情報を共有し活動の幅を広げるように、顔のみえる関係づくりを構築した。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

高齢者を対象としたミニデイサービス「なごみ」を運営しているボランティアグループ「なごみ」を支援し介護予防を推進した。

障害を持つ方たちと地域の方たちとの交流を通して自立支援を推進し、障害を持つ方の居場所づくり「カフェスマイル」を定期開催（月1回）した。また、障がい児余暇支援企画「バオバブ」については、地域の動向を踏まえ、福祉保健団体との共催など開催方法を検討し実施した。

未就園児の親子を対象とした子育てサロン「たんぽぽ」を定期で開催した。年間を通して、横浜市南区子育て支援拠点「はぐはぐの樹」や永田保育園との共催事業を展開し、子育て支援に取り組んだ。また、地域で立ち上がった子育てサロン（ぽてと、つくしんぼ、まんま）の後方支援をした。

ケアプラザと関わりの薄い地域住民を対象とした趣味講座『お楽しみ講座』を開催し、ケアプラザの周知と地域の担い手の発掘等を行った。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域で活動している福祉保健活動団体に対して積極的にケアプラザの利用をPRし、安定的に活動を支援していけるよう部屋の貸出など支援を行った。貸館の利用状況は、窓口で確認できるほかホームページ上でも公開し利用しやすい環境を整えた。

ケアプラザに訪れる機会のない地域住民を対象とした『お楽しみ講座』を年5回開催した。開催後は、自主グループ化を目指しボランティア活動を行う福祉保健活動団体へと発展できるよう支援した。

永田支えあい祭りでは貸館利用団体にも参加していただき、互いの活動を知る機会を設け新たな活動のきっかけ作りを支援した。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

南区社会福祉協議会ボランティアセンターと連携を図りながら、ボランティアの育成と同時に、地域の中で負担のない見守り活動や、個別支援を支える地域ボランティア育成を行った。具体的には、ケアプラザで行う事業を継続して行うために、「永田通信」等の広報誌にボランティア募集の項目を載せ、新たな人材の発掘を行った。また、「ちょこっとボランティア」は地域のニーズに応えられるようボランティア募集を継続して行い、登録人数を増やした。登録後のボランティアには、定期的な会合の開催をして継続した活動を支援した。ボランティア交流会を年2回開催し、日頃のボラン

ティア活動に対しての労いと意見交換を行い今後の活動を支援した。

よこはまシニアボランティアポイント事業を活用し、高齢者のボランティア活動を支援するため、年2回の登録研修会を行った。

ボランティアの登録人数を増やすために、地域の会合やお祭りに参加しボランティアの募集を行うなど、地域の方々へ継続したPR活動を行った。登録後のボランティアに対しては、定期的な会合の開催と能力のレベルアップを目的とした研修会を開催した。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域で開催されている高齢者や子育てのサロン、高齢者給食会、行事、民生委員児童委員協議会などに積極的に参加し、福祉保健活動に関する情報収集を行い地域課題や活動の支援などを行った。

広報誌「永田通信」や「月ポスター」を定期的に配布し、情報が地域に十分届くように努めた。また、ホームページにケアプラザの事業の情報や地域の活動などを掲載し、幅広く情報発信した。

地域アセスメントシートを継続して作成し、今後地域のニーズに応えるための情報として役立てるため、適宜更新を行った。

支えあいネットワーク会議開催し、地域課題や地域資源、地域でどのような活動が必要か、情報の共有化を図り、活動団体や支援者同士の連携の推進を行った。

支えあい祭り等において地域で活動している団体の紹介を行った。また、地域住民から実行委員を選出し、企画・運営を地域主体の行事として行えるように支援を行った。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

住み慣れた地域の中でいつまでも暮らし続けることを目標として、主に高齢者を対象とした地域の支え合いや健康づくり、介護予防の支援、生活支援サービスの充実に取り組んだ。また、南区役所や南区社会福祉協議会など関係機関と連携し、地域課題の解決に取り組んだ。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

地域活動交流や包括支援センターが参加している民児協や地区社協の会議などに同行し、地域の状況や課題を把握した。また、得られた情報を整理し協議体を開催し課題解決に取り組んだ。また、南区役所や第一層の生活支援コーディネーターと情報を共有し今後の取り組みについて協働した。

福祉保健団体の会合、地域のサロンや老人会などに参加し、地域の情報を収集し課題の発見に努めた。情報を整理し、地域活動交流や包括支援センターと状況を共有し、多職種協働を促進した。

(3) 連携・協議の場

既存の活動団体について調査し、生活支援や介護予防、社会参加にかかわる活動・サービスを創出し、継続や発展させるために、また具体的な企画立案及び取組を行うために協議体を開催した。また、様々なネットワークや会議を利用し、協議体の開催という形にこだわらず、生活支援等を協議した。

生活支援に係る活動の立ち上げには積極的に介入し、活動が発展していけるよう継続的に働きかけを行った。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

永田3地区の地域資源を把握し、福祉保健活動団体に限らず、民間企業やNPO法人など様々な分野の活動と連携し、新たな取り組みや支援のシステムを構築した。また、介護や医療の事業者と町内会や自治会、ボランティア団体など生活を支える多様な主体を結び付け「顔の見える関係」を構築し、地域包括ケアシステムを支援した。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

地域の会合への参加や区役所の支援チーム等の会議を通じて、地域包括ケアシステムの構築に向けた情報を共有し、地域でできることを模索し、関係機関とのネットワークを構築した。

地域ケア会議や協議体の充実を図り、福祉保健団体のほか、民間企業やNPO法人など幅広い関係者の参加を求め、ネットワークの一層の拡大や強化を目指した。

支えあいネットワークは、柔軟な発想や取り組みができるようなネットワーク作りを心掛け、必要に応じて実際に活動している地域団体が課題解決の場として機能できるような協力体制作りを目指した。

② 実態把握

区役所、関係機関、民生委員、地域住民等からの情報収集や地域の会合へ積極的に参加することによって地域の高齢者の実態を把握した。また、永田地域ケアプラザまで来られない地域住民を対象に地域の町内会館を中心にした『出張相談会』を各地域で開催した。開催にあたっては、他講座と同時に開催し多くの方に足を運んでいただけるように実施した。

相談から地域の傾向についてデータベースを作成しているため、地域の傾向や民生委員との情報を密に行っていくことで対象者の把握を継続した。

③ 総合相談支援

地域の身近な相談窓口としての役割を果たすため、福祉、保健に関わる様々な分野の情報収集に努めるとともに、各関係機関と連携した。一般高齢者、総合事業対象者、要支援者、要介護者、家族、ケアマネジャーなど異なる対象者に対して、3職種（主任ケアマネジャー、看護師、社会福祉士）それぞれの専門性を生かした支援を展開した。相談に対しては訪問を原則として迅速に対応し、的確に状況を把握したうえで必要に応じたサービスの提案や関係機関に繋いだ。また、相談内容の緊急性（虐待など）に応じて区役所と連携しながら情報を密に共有して支援計画を立てて危機介入を行った。

（２）権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

地域住民や福祉関係者を対象として、成年後見制度や相続・遺言、消費者被害などに関する勉強会や相談会を開催し、制度や法律の普及啓発に努めた。

認知症などにより契約行為や金銭管理が困難な利用者に対して、区役所や社会福祉協議会と連携・検討しながら、必要に応じて成年後見制度や日常生活自立支援事業の紹介連携を行った。また、成年後見制度の利用を望まれる場合や、制度の利用が必要であると判断した場合は必要に応じた申立ての支援を行った。

② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待が発見された場合には、直ちに区役所に報告を行うとともに、関係機関と連携をとり、チームで被虐待高齢者や養護者を支援した。地域住民等に対し高齢者虐待に関する普及啓発や「介護者サロン」を年6回開催し、男性介護者の孤立や介護情報を共有の場として活用しつつ、虐待を未然に防ぎ、虐待が起きた場合にも早期発見が出来る仕組み作りに努めた。

③ 認知症

認知症の方や家族が地域で安心して地域で生活出来るように、環境づくりも含めた専門的支援を行った。具体的には『認知症サポーター養成講座』を認知症キャラバンメイト、社会福祉協議会とともに開催し、地域住民や福祉関係者に対し、認知症についての正しい知識や認知症高齢者への対応についての普及活動を行った。また、近隣の小学校や中学校に対して、その年代に応じた認知症教育を実践し、地域で認知症を支える環境を整える支援を行った。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域の会合や集まりに参加し、出前講座を開催し地域包括支援センターの役割や介護保険制度等について周知した。

インフォーマルサービスについて、その活動内容や特徴、連絡先などの一覧を作成し、いつでもだれでも利用できるように情報を整理した。

地域の会合や民児協などに参加し、出前講座を開催して地域包括支援センターの役割や介護保険制度等について周知した。

北永田、永田みなみ台、南永田山王台の各地区に対して地域の民生委員とケアマネジャーの交流会を開催した。共通の課題についての話し合いや学習の機会を設け、顔の見える関係づくりを構築した。

認知症啓発事業の継続を行い、地域が認知症に対する理解と協力が出来るよう啓発を行った。また、近隣の小学校や中学校に対しても地域・行政と協働して認知症啓発を継続して行った。

② 医療・介護の連携推進支援

在宅医療関係者と連携が図れ、利用者を中心とした支援が円滑に行われるように関係を構築した。永田地域ケアプラザの施設協力医と協働し、永田地区を担当しているケアマネジャーに対して定期的な勉強会を開催し専門的知識の向上やケアマネジメント力の向上を図った。

③ ケアマネジャー支援

ケアマネジメントに関する問題点等の解決を目的に勉強会を行い、それぞれが抱える困難ケース等の支援を行政機関と共に継続して行った。また区や局を通じた情報収集等を行う窓口的役割を担った。現代のニーズに即した情報を収集し、勉強会や研修会、ケア検討会等ケアマネジャーだけでなく多機関を加えた集まりを開催した。

新任ケアマネジャーに対する実習の受け入れを行い、状況に合わせ実習計画を作成し、問題点を解消できるよう支援した。

地域のケアマネジャーからの相談を受け積極的に支援した。また支援困難事例を抱えたケアマネジャーに対し多職種、多機関と連携をはかり、問題解決に向け支援した。状況によって継続的な支援を行った。事業所への定期訪問やケアマネ連絡会等で地域包括支援センターが個々のケアマネジャーの相談窓口であることを案内し、随時相談を受けた。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

地域包括支援センター・地域活動交流を中心として、地域ケア会議や勉強会を開催し、永田地区の保健・福祉・医療の専門職相互の連携を図り、さらに民生委員児童委員協議会や地区社会福祉協議会、ボランティア等のインフォーマルな活動を含めた地域の様々な資源を活用し、高齢者が継続的に地域で生活が送れるように支援した。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

インフォーマルサービスも含めたサービスを活用しながら自宅での生活が継続できるよう最新情報を収集していき、マネジメントを行った。

マニュアルに沿ったケアマネジメント業務を行った。利用者の状況によりケアプランを変更しながら適切に支援した。3職種が定期的に話し合いをもち、支援困難な状況にある利用者について事前に解決した。

関連機関（区役所・民生委員・サービス事業者等）と協力し利用者が自立した生活を送れるよう支援した。

居宅介護支援事業者へ業務委託を行い利用者のケアマネジメントが滞りなく行えるように、3職種で情報を共有した。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
地域住民が参加しやすい場所を選定して開催できるよう町内会館等を会場選定し、介護予防サポーターと協力しながら啓発活動を行った。
[口腔ケア講座、食事講座、介護予防教室、医学講座、お元気で21健診、人材育成(地域の実情に合わせて企画、介護予防活動の情報交換会や研修など)、元気づくりステーションの継続活動支援、地域住民主催の介護予防に準ずる教室の活動支援等]

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

<開館時間>

年末年始（12月29日～1月3日）を除く午前8時30分～午後9時（第三月曜・日曜・祝日は午後5時まで）

<建物・設備の保守点検、清掃作業>

委託契約先 国際ビルサービス（株）

委託内容 ①建築物・設備保守点検業務 ②清掃業務（定期清掃・害虫防除）

<警備業務>

委託契約先 京浜警備保障（株）

委託内容 機械警備業務

(2) 効率的な運営への取組について

指定管理者として、公の施設を適切に管理し地域ケアプラザが安全に安心して利用できる施設として、地域住民の財産となるように努めた。設備等の故障により、利用者にも不便をかけることのないよう今後も維持管理を適切に行った。設備管理における委託業務者を選出するにあたっては、設備管理についての質の確保と、経費削減を同時に行った。また、経年劣化を考慮し、区と連携を図りながら適切に対応した。

(3) 苦情受付体制について

「横浜市内所在施設の苦情解決に関する規定」に則り対応した。

<苦情への対応手順>

苦情の申し出先がわかるように、施設内に苦情受付について受付担当者、解決責任者、第三者委員名等を記載し掲示した。

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

①苦情解決窓口及び担当者、責任者の氏名、第三者委員氏名、連絡先の掲示

②提案や意見を募るためにご意見箱を設置

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防災に関しては「永田地域ケアプラザ災害時対応マニュアル」「消防計画」を策定しており、年数回の避難誘導訓練・初期消火訓練を実施し、防災意識の向上に努めた。南区との協定による特別避難場所として、地域防災拠点で避難生活を送ることが困難な方々を受け入れることができるように備えた。また、南中地域防災拠点の運営委員として訓練や会議に参加し、特別避難場所の周知を徹底した。

緊急時の対応については、初期対応から迅速かつ適切な行動が出来るように、緊急時対応マニュアルを策定し、職員会議や研修時に確認するとともに、防災訓練時に緊急時の対応についても訓練を行った。

南区との協定による災害時特別避難場所として、地域防災拠点で避難生活を送ることが困難な要援護者を迅速に受け入れられるよう対応した。

(5) 事故防止への取組について

事故防止策では、「横浜市地域ケアプラザ・事故防止の手引き」を職員がいつでも閲覧できる場所に置き意識向上に努めた。また、「手引き」をテキストとして内部研修で活用し、事故の予防に努め、事故発生時には事故対応マニュアルに則り対応を行えるように備えた。

「防げる事故は起こさない」「事故は未然に防ぐ」を目的とし「ヒヤリハット報告書」を活用することでリスク管理を行いその防止に努めた。

事故発生時は、初動対応を正確かつ迅速に行い、関係機関に連絡、報告を義務づけた。また、再発防止の為に「報告書」の作成を行い、職員全員に回覧した。通所介護では、事故防止の意識が向上するように月例の会議や毎日のミーティングで事故事例の検証や事故予防の啓発を行った。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努めた。個人情報のFAX送信時、郵送時には必ず二人体制でダブルチェックを行い、誤送付防止に努めた。職員全体会議時に個人情報保護の取り扱いについての研修を行った。USBメモリは原則使用せず、個人情報の入ったファイルは、必ずサーバーに保存した。特別に必要と認められる場合を除き（出前講座など）USBメモリの持ち出しをしないように徹底した。

(7) 情報公開への取組について

「横浜市永田地域ケアプラザ情報公開規程」に則り対応できるように備えた。情報公開へは施設内受付とホームページ上で積極的に開示した。具体的には、事業計画・報告、収支状況、利用者アンケートの結果、苦情対応結果、第三者評価結果などを誰もが閲覧できるようにした。

ホームページ等の公開により、施設のイベント・教室開催情報や地域情報等を地域に向けて配信できるような情報公開を行った。

(8) 人権啓発への取組について

横浜市の人権尊重のための指針「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現に向けて、職員はもちろんのこと、地域の中でも意識が高まるような勉強会や研修の実施を様々な観点から実施した。

(9) 環境等への配慮及び取組について

省エネルギー対策として、ゴミの減量化など良好な環境を維持するために、節水や節電を行った。また、コピー用紙の裏面使用の励行やゴミの分別収集など、職員一人一人が「限りある資源を大切に使う」という意識を持つようにした。

電力消費がピークになる夏季は、緑のカーテンやすだれを用いて室内温度の上昇を緩和し、軽装を心がけ、扇風機やうちわを使用し、電源などはこまめに切るなど節電に努めた。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センター職員が中心となり、総合事業対象者や要支援の認定を受けた利用者のニーズを把握し、介護予防サービスを適切に受けられるように計画策定及び支援を行った。地域包括支援センターが担当している利用者については、居宅介護支援事業と協力し3職種の仕事に影響が出ないように調整しながら対応した。

《目標に対する成果等》

要支援1・2、総合事業対象者の利用者は毎月210件前後の担当を行っており、このうち70%程度を居宅介護支援事業所に委託した。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し（通常のサービス地域をこえる地域に訪問・出張する場合の交通費は実費）

《その他（特徴的な取組、PR等）》

予防のケアプランについて、地域ケアプラザの配置人員に対応可能な件数が決まっているため、それを超えた一部を外部に委託する場合は、対象の事業所が一定の条件を満たしているか必ず確認した。介護度が変化した際には、利用者の負担がないようなサービスの継続性を重視した。ケアマネジメントについてはできるだけ利用者が分かりやすく、実行が可能な目標が立てられるようにした。また委託先の居宅支援事業とも利用者の介護予防プランを通して継続した支援関係を維持した。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
210	215	222	234	242	232
10月	11月	12月	1月	2月	3月
235	238	235	231	219	223

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
介護支援専門員 3名（常勤兼務1名）

《目標に対する成果等》

ケアプラン作成にあたっては、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立を支援した。また、ケアマネジメントの展開が難しい方（高齢者虐待など）は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援した。介護支援専門員常勤換算あたり1名の契約目標を介護・予防含めて39件とした。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

高齢者への虐待など、ケアマネジメントをすぐに展開することが難しい事例には、まず地域包括支援センターと協働し、必要に応じた関係機関へと働きかけ、速やかに状況に応じた支援を展開した。

地域包括支援センターが開催するケアマネジャー向けの研修会等や内部・外部の研修会に積極的に参加し、ケアマネジメントの資質向上に努めた。

介護保険制度が改定する時期には、積極的に情報を収集し適正な運用を実施した。事業所として南区事業者連絡会「あったかネット南」に協力するとともに、介護支援専門員の横のつながりを大切にしてお互いの研鑽を図った。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
53.0	56.0	53.5	56.0	55.5	56.5
10月	11月	12月	1月	2月	3月
55.0	57.0	58.0	58.5	63.5	62.0

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助（生活指導）等
- 日常生活動作訓練（機能訓練）等
- 健康状態の確認
- 入浴・排泄・食事・送迎等の各サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （要介護1） 704円
 - （要介護2） 831円
 - （要介護3） 963円
 - （要介護4） 1,095円
 - （要介護5） 1,227円
- 入浴介助加算 54円
- サービス提供体制加算Ⅰ 2 13円
- 中重度者ケア体制加算 49円
- 食費負担 750円
- ※その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	3名（常勤兼務3名）
看護職員	3名（非常勤兼務3名）
機能回復訓練指導員	3名（非常勤兼務3名）
介護職員	19名（常勤兼務3名、非常勤兼務16名）
調理職員	4名
運転手	6名
事務員	1名（常勤兼務1名）

《目標》

通所介護では、『地域に必要とされるデイサービス』を目標に掲げ、安全で安心して利用できるデイサービスを目指した。利用者のニーズを十分に把握し、利用者一人一人に寄り添った支援を実践した。またサービスの質を向上させるため、定期的な職員研修を実施した。

安定した運営のために、新規利用者の継続的な確保、稼働率の向上を目指した。そのための方策として、積極的にデイサービスの宣伝を行い、既存の関係あるケアマネジャーのみならず、広域の居宅介護支援事業所や地域住民への周知に努め、信頼関係の構築に努め、利用者獲得に繋げた。また、利用者に対して利用回数の増加や臨時利用などを提案した。キャンセルについてはその理由を分析し、利用者満足度の向上に努めた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

1日平均28人（通所介護相当サービスを含む）を目標とした。

利用者ごとの利用状況等の報告をきめ細やかにを行い、家族、担当ケアマネジャーとの信頼関係を構築した。

新規申込から1週間以内にサービス開始ができるように努めた。

食事は日々の利用を考慮して毎日違うメニューを提供し、季節に合った食材を適時適温で美味しく食べていただくよう提供した。年1回～2回利用者嗜好調査を実施して、メニューに反映した。また、毎朝送迎時に車の中で当日のメニューを発表し、嫌いなものや食べられないものを確認しきめ細やかに対応した。

レクリエーションについては、全員で行う機能訓練の体操（棒体操やリズム体操など）や週替わりのレクリエーションのほか、自分らしさを大切にして利用者が選んで行う趣味の活動（習字、大正琴など）やゲーム（囲碁、将棋、オセロ、麻雀など）も提供した。また、年間を通じて季節の行事（運動会、夏祭り、敬老会など）を実施し、季節を感じてもらうサービスを提供した。

デイサービスでは多くのボランティアに来ていただけるよう活動を用意した。その人に合った活動してもらい、利用者もボランティアも楽しめる地域と繋がりのあるデイサービスを展開した。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
741	818	844	863	823	777
10月	11月	12月	1月	2月	3月
724	725	659	632	619	730

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 相談援助（生活指導）等
- 日常生活動作訓練（機能訓練）等
- 健康状態の確認
- 入浴・排泄・食事・送迎等の各サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担
 - （要支援1） 1,766円
 - （要支援2） 3,872円
- サービス提供体制加算I2
 - （要支援1） 52円
 - （要支援2） 103円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:30 ~ 15:20 （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
生活相談員	3名（常勤兼務3名）
看護職員	3名（非常勤兼務3名）
機能回復訓練指導員	3名（非常勤兼務3名）
介護職員	19名（常勤兼務3名、非常勤兼務16名）
調理職員	4名
運転手	6名
事務員	1名（常勤兼務1名）

《目標》

住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう地域包括ケアシステムの一部を担うサービスを提供した。体操やレクリエーションを通じた機能訓練の充実や食事などの日常生活の支援を利用者の意向を踏まえ提供し、いつまでも健康で生活できるよう支援した。また、高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、地域での社会参加の機会を提供した。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

要支援・総合事業対象者の利用者の登録目標を1ヶ月あたり20人とした。

利用者ごとの利用状況等の報告をきめ細やかにを行い、家族、担当ケアマネジャーとの信頼関係を構築した。

新規申込から1週間以内にサービス開始ができるように努めた。

食事は日々の利用を考慮して毎日違うメニューを提供し、季節に合った食材を適時適温で美味しく食べていただくよう提供した。年1回~2回利用者嗜好調査を実施して、メニューに反映した。また、毎朝送迎時に車の中で当日のメニューを発表し、嫌いなものや食べられないものを確認しきめ細やかに対応した。

レクリエーションについては、全員で行う機能訓練の体操（棒体操やリズム体操など）や週替わりのレクリエーションのほか、自分らしさを大切にして利用者が選んで行う趣味の活動（習字、大正琴など）やゲーム（囲碁、将棋、オセロ、麻雀など）も提供した。また、年間を通じて季節の行事（運動会、夏祭り、敬老会など）を実施し、

季節を感じてもらおうサービスを提供した。

デイサービスでは多くのボランティアに来ていただけるよう活動を用意した。その人に合った活動してもらい、利用者もボランティアも楽しめるよう地域と繋がりのあるデイサービスを展開した。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	20	19	19	19	18
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	18	18	17	15	15

**平成29年度「永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,212,645	0	15,212,645	15,212,645	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	105,750	△ 105,750	なし
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	128,619	△ 128,619	
印刷代	0		0	90,675	△ 90,675	なし
自動販売機手数料	0		0	37,534	△ 37,534	なし
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充当)	0		0	410	△ 410	なし
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	667,391		667,391	667,391	0	
収入合計	19,467,536	0	19,467,536	19,701,905	△ 234,369	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,258,000	0	11,258,000	10,818,878	439,122	
本俸	7,300,000		7,300,000	7,102,750	197,250	本給
社会保険料	1,300,000		1,300,000	1,232,790	67,210	社会保険料
手当計	2,400,000		2,400,000	2,347,309	52,691	諸手当
健康診断費	15,000		15,000	11,374	3,626	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	94,404	5,596	退職給付引当金
その他	143,000		143,000	30,251	112,749	その他
事務費	930,000	0	930,000	784,657	145,343	
旅費	0		0	0	0	なし
消耗品費	320,000		320,000	229,799	90,201	消耗品費
会議随費	5,000		5,000	1,265	3,735	会議費
印刷製本費	20,000		20,000	17,151	2,849	印刷製本
通信費	200,000		200,000	182,320	17,680	通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	なし
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	210,000		210,000	202,824	7,176	事務用品
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,067	933	施設賠償責任保険
職員等研修費	20,000		20,000	11,674	8,326	研修費
振込手数料	25,000		25,000	0	25,000	なし
リース料	22,000		22,000	21,572	428	リース料
手数料	6,000		6,000	5,052	948	手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	99,000		99,000	110,933	△ 11,933	その他
事業費	253,000	0	253,000	261,469	△ 8,469	
運営協議会経費	42,000		42,000	9,240	32,760	運営協議会費
指定管理料充当 事業	211,000		211,000	252,229	△ 41,229	事業費
管理費	6,125,896	0	6,125,896	4,868,390	1,257,506	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	なし
光熱水費	2,992,781	0	2,992,781	2,992,781	0	光熱水費
電気料金	966,009		966,009	966,009	0	
ガス料金	692,918		692,918	692,918	0	
水道料金	1,333,854		1,333,854	1,333,854	0	
清掃費	300,000		300,000	282,171	17,829	清掃費
修繕費	195,896	0	195,896	195,896	0	なし
機械整備費	0		0	0	0	なし
設備保全費	1,270,000	0	1,270,000	1,219,802	50,198	
空調衛生設備保守	420,000		420,000	407,080	12,920	空調設備保守料
消防設備保守	100,000		100,000	93,170	6,830	消防設備保守料
電気設備保守	450,000		450,000	436,505	13,495	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	38,224	11,776	害虫駆除保守料
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	250,000		250,000	244,823	5,177	その他
共益費	200,000		200,000	177,740	22,260	共益費
その他	1,167,219		1,167,219	0	1,167,219	その他
公租公課	900,640	0	900,640	865,510	35,130	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	900,640		900,640	865,510	35,130	消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
リース対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,467,536	0	19,467,536	17,598,904	1,868,632	
差引	0	0	0	2,103,001	△ 2,103,001	

自主事業費収入	211,000		211,000	105,750	105,250	なし
自主事業費支出	211,000		211,000	252,229	△ 41,229	事業費支出
自主事業収支	0	0	0	△ 146,479	146,479	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	37,534	△ 37,534	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	37,534	△ 37,534	

平成29年度「永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,609,072	0	28,609,072	28,609,072	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	なし
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	なし
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	100,034	△ 100,034	
印刷代	0		0	0	0	なし
自動販売機手数料	0		0	37,534	△ 37,534	自販機手数料
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	なし
その他(指定管理料充分)	0		0	62,500	△ 62,500	指定管理料充分
その他(提案時控除 法人負担分)	4,982,000		4,982,000	4,982,000	0	
収入合計	39,531,072	0	39,531,072	39,631,106	△ 100,034	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	36,204,000	0	36,204,000	28,087,021	8,116,979	
本俸	22,364,000		22,364,000	15,391,278	6,972,722	本給
社会保険料	4,000,000		4,000,000	3,667,356	332,644	社会保険料
手当計	9,000,000		9,000,000	8,421,852	578,148	諸手当
健康診断費	40,000		40,000	32,284	7,716	健康診断料
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	なし
退職給付引当金繰入額	500,000		500,000	434,268	65,732	退職給付引当金
その他	300,000		300,000	139,983	160,017	その他
事務費	858,000	0	858,000	762,536	95,464	
旅費	10,000		10,000	4,931	5,069	旅費
消耗品費	50,000		50,000	39,378	10,622	消耗品費
会議随費	0		0	0	0	なし
印刷製本費	10,000		10,000	7,647	2,353	印刷製本
通信費	150,000		150,000	133,620	16,380	通信費
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	なし
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	0		0	0	0	なし
図書購入費	0		0	0	0	なし
施設賠償責任保険	3,000		3,000	2,067	933	施設賠償責任保険
職員等研修費	40,000		40,000	31,502	8,498	研修費
振込手数料	1,000		1,000	620	380	振込手数料
リース料	30,000		30,000	21,572	8,428	リース料
手数料	10,000		10,000	5,052	4,948	手数料
地域協力費	0		0	0	0	なし
その他	554,000		554,000	516,147	37,853	その他
事業費	842,000	0	842,000	563,123	278,877	
協力医	252,000		252,000	252,000	0	協力医
指定管理料充分自主事業(包括)	130,000		130,000	2,400	127,600	事業費
指定管理料充分自主事業(介護予防)	151,000		151,000	159,579	△ 8,579	介護予防事業費
指定管理料充分自主事業(生活支援)	309,000		309,000	149,144	159,856	生活新事業費
管理費	1,627,072	0	1,627,072	1,294,118	332,954	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	なし
光熱水費	795,549	0	795,549	795,549	0	光熱水費
電気料金	256,787		256,787	256,787	0	
ガス料金	184,193		184,193	184,193	0	
水道料金	354,569		354,569	354,569	0	
清掃費	80,000		80,000	75,007	4,993	清掃費
修繕費	52,072		52,072	52,072	0	修繕費
機械警備費	0		0	0	0	なし
設備保全費	370,000	0	370,000	324,244	45,756	
空調衛生設備保守	120,000		120,000	108,210	11,790	空調設備保守料
消防設備保守	30,000		30,000	24,766	5,234	消防設備保守料
電気設備保守	120,000		120,000	116,030	3,970	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000	10,160	9,840	害虫駆除保守料
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	80,000		80,000	65,078	14,922	その他
共益費	50,000		50,000	47,246	2,754	共益費
その他	279,451		279,451	0	279,451	その他
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	39,531,072	0	39,531,072	30,706,798	8,824,274	
差引			0	8,924,308	△ 8,924,308	

自主事業収入	590,000			0		なし
自主事業費支出	590,000			311,123		事業支出日
自主事業収支	0			△ 311,123		⇒自主事業(指定管理料充分の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			37,534		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			37,534		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 永田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
		収入	介護保険収入	5547	6706
その他	9018		134	20378	6771
介護予防ケアマネジメント 費	9018		0	0	0
介護負担金収入	0		0	16500	0
事業・負担金収入	0		0	0	6771
受託収入	0		134	0	0
施設使用料相当額	0		0	3588	0
その他	0		0	290	0
収入合計(A)	14565		6840	97966	6771
支出	人件費		0	13564	62324
	事務費	0	1203	2601	0
	事業費	0	4	8863	0
	管理費	0	0	7935	0
	その他	10989	0	3989	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	4066	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント プラン委託料	6923	0	0	0
		0	0	0	0
	施設使用料相当額	0	0	3588	0
	その他	0	0	401	0
支出合計(B)	10989	14771	85712	0	
収支 (A) - (B)		3576	-7931	12254	6771

平成29年度 自主事業報告書

横浜市永田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
永田歌声広場 (地域包括)	実施目的：地域と繋がらない高齢者が参加できる場所を地域とともに作った。 実施内容：介護予防（ロコモ予防体操、口腔体操、栄養の知識）と懐かしい曲を合唱する活動を行った。運営は地域ボランティアが行い、活動が継続できるよう助言アドバイスを行った。	実施回数：15回 毎月 第1, 3火曜日午前10時から11時30分 場所：永田町上第1, 2町内会館

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山王台脳トレクラブ (地域包括)	実施目的：認知症予防、近隣者の交流の場を目指して軽運動を行った。 主催は地域住民が行い、活動継続できるよう助言アドバイスを行った。 実施内容：コグニサイズ、ウォーキング等	支援回数：9回 毎月第2, 4金午前10時から10時45分 場所：永田山王台の個人宅駐車場

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南永田脳トレウォーキング	実施目的：定期的な脳トレウォーキングを行うことで、認知症予防と近隣者同士の交流の場を担った。平成29年5月から開始、虚弱になった方が気軽に参加できる活動、近隣者と交流が取れること、認知症予防が目的として活動した。 実施内容：個人宅玄関周辺で脳トレウォーキングを月2回で実施(雨天中止)自治会組織とは関係なく個人的な活動スタンスで行った。	実施回数：11回 実施時期：毎月第2, 4水曜日、午前

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	実施目的：介護保険のサービスについて知りたいという要望に応じて、分りやすい説明を行った。 実施内容：6月20日永田みなみ台1街区 高齢者サポート委員会で介護保険制度と地域包括支援センターの相談業務について説明した。	実施回数：1回 実施時期：6月20日

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
デイサービス なごみ	実施目的：介護保険で非該当の方で、日中の居場所が少ない方の居場所として機能させ心身ともに健やかになって欲しいため活動を行った 実施内容：高齢者の介護予防・自立支援。65歳以上で歩いてケアプラザまで来られる方。要介護認定がおりていない方を対象に第2・4火曜日に実施。	実施回数：21回 実施時期：毎月第1,3火曜日、午後1時半～3時半

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン 「たんぽぽ」	実施目的：子育て支援 実施内容：未就園児とその保護者を対象にしたサロン。 実施時期：毎月第1木曜日、第4水曜日 ボランティアが子供達を見守り、自由に遊べるスペースを提供。また、概ね月に1度、45分程度のお楽しみタイムを設けた。お楽しみタイムとは、水遊びやクリスマス会など季節に合った遊びを楽しむ。近隣の永田保育園やさくらザウルスから講師を呼んで、講座を開催した。	実施回数：22回 実施時期：毎月第1木曜日、第4水曜日 午前10時～12時

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
永田囲碁将棋クラブ	実施目的：地域住民の交流 実施内容：大人向けの囲碁将棋クラブ。定年後の男性の居場所が少ないので、囲碁将棋を通すことで、男性の居場所作りとして機能させ今後の福祉保健活動へと発展させていく。	実施回数：24回 実施時期：月2回、毎月第2,3土曜日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子料理教室	実施目的：食育 実施内容：未就学児の親子を対象に料理の楽しみを体験し、食の大切さを学んだ。	実施回数：2回 実施時期：6月10日、11月18日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
永田みなみ台地区見守り隊	実施目的：永田みなみ台地区で高齢の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう見守る活動を支援した。 実施内容：地域で見守る方法を考えて行く地域包括支援センターの機能、あんしんネットワーク事業の説明を行った。また、見守り隊運営委員会や定例会に参加し、ニーズの把握や情報提供などを行った。	実施回数：12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お楽しみ講座	実施目的：誰もが気軽に参加できる講座を行う事で、普段ケアプラザを利用していない方に、ケアプラザを知ってもらう機会とした。 実施内容：ヨガ講座、エキサイトパンチ&トレーニング、習字&水墨画、永田の歴史講座、ガラスドームづくり	実施回数：7回 実施時期：6月28日、7月8日、10月21日、10月28日、11月17日、11月25日、11月29日、

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	実施目的：ケアプラザで活動するボランティアの交流の場作り。 実施内容：活動しているボランティアとの意見交換会。	実施回数：2回 実施時期：12月2日、2月28日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児余暇支援事業 「スマイル」	実施目的：知的に障がいがある中高生の居場所作り。 対象者：南区に在住の知的に障がいがある中高生。 活動内容：子供達がケアプラザでゲームや絵画をして安心して過ごせる時間を過ごす。平成27年度からは、地域のお祭りに参加したり、ボウリング場へ出かけるなどをして、外出する機会を増やしている。	実施回数：12回 実施時期：月1回、毎月第4日曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児者支援企画 「バオバブ」	実施目的：障がい児の余暇支援活動。 対象者：南区に在住の知的に障がいがある小学生と中学1年生。 活動内容：学校や家族以外での活動の場として、さまざまな人との出会いの場を作った。	実施回数：1回 実施時期：8月28日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
育児講座	実施目的：地域の子育て支援 実施内容：健康相談、離乳食、他	実施回数：2回 実施時期：6月6日、9月7日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (永田地区センター共催事業)	実施目的：北永田地区社協の協力を得て、地域住民に広く認知症を知って頂くための機会としての講座を開催。 実施内容：地域の商店にも声をかけて、講座への出席の働きかけを行った上での開催。認知症サポーター養成講座に合わせて、地区社協の活動についてを区社協からPR、地域包括支援センターについて、あんしんネットワークについての説明を行った。	実施回数：1回 実施時期：8月25日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (山王台おしゃべり会)	実施目的：山王台西自治会おしゃべり会に来ている地域住民の方に認知症サポーターになって頂くことで地域の認知症の方が安心して住める街になる。 実施内容：山王台会館にてキャラバンメイト山本氏、佐藤氏による講座を行い、地域ケアプラザの説明をおこなった。	実施回数：1回 実施時期：10月18日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (みなみ台地区社協)	実施目的：永田台団地の住民に認知症サポーターになっていただくことで団地の認知症の方が安心して住める町づくりをしていく。 実施内容：団地一街区集会所にてキャラバンメイト山本氏、佐藤氏による講座を行い、地域ケアプラザについての説明を行った。	実施回数：1回 実施時期：11月9日

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (レストア横浜)	実施目的：レストア横浜周辺住民の方に認知症についての理解を深めサポーターになっていただく。 実施内容：レストア横浜にてキャラバンメイト大塚氏による講座を行い、地域ケアプラザの説明を行った。レストア横浜の施設見学を行った。	実施回数：1回 実施時期：10月21日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (永田台小学校)	実施目的：永田台小学校5年生の生徒に認知症について正しく知り、自分たちの出来ることを考えてもらう。 実施内容：永田台小学校にてキャラバンメイト山本氏、佐藤氏、浅原氏による講座を行い、地域ケアプラザについて説明する。午後の授業では生徒とともに振り返りを行った。	実施回数：1回 実施時期：11月24日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (南永田山王台地区老人会)	実施目的：老人会の方に認知症について正しく理解し自分たちの出来ることについて考えていただく。 実施内容：永田地域ケアプラザにてキャラバンメイトによる講座を行い、地域ケアプラザについて説明した。	実施回数：1回 実施時期：11月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (北永田地区老人会)	実施目的：老人会の方に認知症について正しく理解し自分たちの出来ることについて考えていただく。 実施内容：永田町上第四町内会にてキャラバンメイトによる講座を行い、地域ケアプラザについて説明した。	実施回数：1回 実施時期：12月1日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座 (南永田山王台地区老人会 南永田南ひまわりクラブ)	実施目的：老人会の方に認知症について正しく理解し自分たちの出来ることについて考える。 実施内容：特別養護老人ホーム南永田桜樹の森にてキャラバンメイトによる講座を行い、地域ケアプラザについて説明した。	実施回数：1回 実施時期：12月20日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
永田deはぐくむわくわく教室	実施目的：永田エリアの乳幼児の養育者が地域の中に知り合いを増やし、子育てを支えあえる仲間作りの機会にする。また、そのつながりを基に地域への愛着を深め、地域活動の担い手へと成長することを期待する。 実施内容：外遊び、ケーキ作り、ヒアリハット等の講座の開催	実施回数：9回 実施時期：11月10日、11月17日、11月24日、12月1日、12月8日、12月15日、1月19日、2月16日、3月16日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもの見守りボランティア講座	実施目的：地域では、子育てサロンの担い手の育成が急務となっていることから、ボランティア講座を実施することによって、新たな担い手の発掘と育成を狙う。 実施内容：講座の開催、実地体験	実施回数：2回 実施時期：10月11日、10月25日

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おむつなし育児講座	<p>実施目的：①乳幼児をもつ親が子連れで集まり、子どもを安心して遊ばせながら親同士の交流を図れるような場を作ることで、子育てを支援した。</p> <p>②地域の方が、地域活動などへの参加を促進し、地域社会で活躍できる機会を提供した。</p> <p>実施内容：おむつなし育児アドバイザーが講師となり、講演会を開催</p>	<p>実施回数：1回 実施時期：12月4日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症キッズサポーター養成講座	<p>実施目的：地域包括支援センターの相談業務について紹介し、包括支援センターについて知って頂く。</p> <p>実施内容：永田小学校にてキャラバンメイトによる講座をおこなった。小学生向けにクイズなどを導入しわかりやすい形にした。</p>	<p>実施回数：1回 実施時期：2月5日</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン永田台	<p>実施目的：永田台自治会主催のサロン。介護予防の講座を取り入れた。介護予防体操を実施できるよう、働きかけていく。</p> <p>実施内容：平成28年度より開始された自治会主催のサロン。年間を通して介護予防体操や介護予防講座の実施を行った。</p>	<p>実施回数：2回 実施時期：3月17日</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第14回永田支えあい祭り	<p>実施目的：地域の活性化と異世代交流のネットワークづくり</p> <p>実施内容：地域で活動している福祉保健活動団体をPRする場として、ブース出店（食べ物、手芸、健康チェック、おもちゃ病院など）、ブラスバンド演奏・キッズダンス・認知症サポーター養成講座などをおこなった。祭りの運営については、実行委員会形式ですすめ、地域を主体にして行った。</p>	<p>実施回数：1回 実施時期：4月16日</p>

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市永田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ミニデイサービスなごみ	①地域住民	0	地活						
	②854名		包括						
	③無料		生活						
子育てサロンたんぽぽ	①未就園児とその保護者	18,391	地活	18,391	0	0	6,000	12,391	0
	②595名		包括						
	③無料		生活						
永田囲碁・将棋クラブ	①地域住民	0	地活						
	②167名		包括						
	③無料		生活						
親子料理教室	①地域住民	4,694	地活	2,594	2,100	0	0	4,694	0
	②44名		包括						
	③300円		生活						
永田支えあい祭り	①地域住民	85,666	地活	28,216	0	57,450	0	85,666	0
	②1500名		包括						
	③無料		生活						
お楽しみ講座	①地域住民	37,524	地活	22,924	14,600	0	20,000	17,524	0
	②97名		包括						
	③200～1000円		生活						
ボランティア交流会	①ボランティア	8,406	地活	8,406	0	0	0	8,406	0
	②21名		包括						
	③無料		生活						
障害児余暇支援 スマイル	①障害を持つ中高生	9,494	地活	7,594	1,900	0	0	9,494	0
	②14名		包括						
	③100円～300円		生活						
育児講座	①地域住民	0	地活						
	②48名		包括						
	③無料		生活						
永田deはぐくむ わくわく教室 (新規事業)	①地域住民	32,004	地活	32,004	0	0	10,000	22,004	0
	②316名		包括						
	③無料		生活						
おむつなし育児講座 (新規事業)	①地域住民	0	地活						
	②14名		包括						
	③無料		生活						
障がい者支援企画 「バオバブ」	①障がい児	1,696	地活	496	1,200	0	0	1,696	0
	②14名		包括						
	③150円		生活						
南永田祭り(ふれあいフェスティバル)	①地域住民	3,721	地活	1,421	0	2,300	0	3,721	0
	②800名		包括						
	③無料		生活						
北永田ふるさとふれあい祭り	①地域住民	7,835	地活	0	0	11,800	0	7,835	0
	②1,000名		包括						
	③無料		生活						
年末大掃除大会 (新規事業)	①地域住民	4,242	地活	4,242	0	0	0	4,242	0
	②40名		包括						
	③無料		生活						
永田通信	①地域住民	5,784	地活	5,784	0	0	0	5,784	0
	②地域住民		包括						
	③無料		生活						
みそ講座 (新規事業)	①地域住民	17,073	地活	2,673	14,400	0	0	17,073	0
	②10名		包括						
	③無料		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
防災講習会 (新規事業)	①地域住民	15,000	地活	15,000	0	0	15,000	0	0
	②31名		包括						
	③無料		生活						
子育て支援事業 わくわく教室	①地域住民	699	地活	699	0	0	0	0	699
	②316名		包括						
	③無料		生活						
		252,229		150,444	34,200	71,550	51,000	200,530	699

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **横浜市永田地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額						
		総経費	収入			支出		
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
永田歌声広場	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②744名		包括					
	③無料		生活					
山王台脳トレ倶楽部	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②39名		包括					
	③無料		生活					
南永田脳トレウォーキング	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②64名		包括					
	③無料		生活					
永田みなみ台地区おしゃべり会(1街区/2・3街区)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②126名		包括					
	③無料		生活					
出前講座	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②26名		包括					
	③無料		生活					
(永田地区センター共催事業)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②63名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (山王台おしゃべり会)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②20名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (みなみ台地区社協)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②18名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (レストラン横浜)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②15名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (永田台小学校)	①小学生	0	地活	0	0	0	0	0
	②74名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (南永田山王台地区老人会)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②70名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (北永田地区老人会)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②40名		包括					
	③無料		生活					
認知症サポーター養成講座 (山王台地区老人会南永田ひまわり)	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②14名		包括					
	③無料		生活					
認知症キッズサポーター養成講座 (永田小学校)	①小学生	0	地活	0	0	0	0	0
	②78名		包括					
	③無料		生活					
サロン永田台	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②12名		包括					
	③無料		生活					
永田みなみ台地区 見守り隊	①地域住民	0	地活	0	0	0	0	0
	②187名		包括					
	③無料		生活					

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自 主 事 業 決 算 額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
消費生活出前講座	①地域住民	1,500	地活						
	②8名		包括	1500	0	0	0	0	1,500
	③無料		生活						
ケアマネと民生の交流会	①ケアマネジャー、民生	900	地活						
	②17名		包括	900	0	0	0	0	900
	③無料		生活						
		2,400		2,400	0	0	0	0	2,400

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

横浜市永田地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
認知症普及啓発講演会	①地域住民	1,969	地活						
	②122名		包括						
	③無料		生活	1969	0	0	0	0	1,969
		1,969		1969	0	0	0	0	1969